※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　工業科（機械系列）

教科	工業	科目	機械実習 a（機械実習）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	学校作成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

砂型鋳造：作ろうとする製品の鋳型をつくり、アルミを溶融、型に鋳込んで鋳造品をつくることにより、鋳造の基本を学習する。
板金加工：金属板から必要な形を切り出し、折り曲げ・接合（はんだ付け）を行い、製品をつくる工程を学習する。

2　学習の到達目標

砂型鋳造・板金加工に関する基礎的・基本的な知識と技術を修得する。鋳造においては、工具の取り扱いと鋳型造りを体得して、金属の鋳込みを理解する。作業目的を理解し、適切な工具で効率よく加工をする。また、各分野における鋳造と板金加工の意義や役割を理解し、探究的な能力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	工業（機械）の基礎的な知識と基本的な技術を修得し、工業の意義や役割を理解している。また、グループでの協調性を身に付けて自分の意見や考察ができている。	目的を理解し、達成するために適切な手段を講じ、解決を目指す。また結果をまとめ、その成果を的確に表現できる。	自主的･継続的な学習を通じ、技術に関する探究的・創造的な能力を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期		○砂型鋳造 ・ロストル ・アレー ・ハンドル ・プーリー ・その他 ○やすり仕上げ(鋳造製作品) ○板金加工 ・トレー ・ペンケースの作成(小) ・ペンケースの作成(大) ・ちりとりの作成	a: 工業（機械）の基礎的な知識と技術を修得し、工業の意義や役割を理解している。また、グループでの協調性を身に付けて自分の意見や考察ができている。 b: 目的を理解し、達成するために、適切な手段を講じ、解決を目指す。また、結果をまとめ、その成果を的確に表現できる。 c: 自主的・継続的な学習を通じ、技術に関する探究的・創造的な能力を身に付ける。	学習状況の観察 総合的な理解度 提出作品の評価	学習状況の観察 総合的な理解度	学習状況の観察 総合的な理解度 学習意欲

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態